令和8年（2026 年）10 月 29 日（木）第 289 号

横須賀市立大塚台小学校学校だより

大塚台の風



校長　山崎　亨

『笑顔と絆の大塚台メモリー』コンプリート！

令和8年 10 月 25 日（日）。一日延期となり仕切り直しで第 24 回目の大塚台小学校運動会が開催されました。この日ばかりは、大グラウンドが“大塚台スタジアム”となり、子ども達の雄姿に保護者観覧場所からは大きな拍手が降り注がれました。



開会式の『はじめのことば』で幕を開け、6年生係児童の『スローガンの確認』に全校児童が声を合わせ、最後は『児童代表の言葉』で一気に士気が高まり、会が進行していきました。

本当に大切なもの・・・それは練習の中にあり！

開会式で、わたしから子ども達に『練習はうそをつかない』という話を送りました。この言葉は、しっかりと練習をしてきた子は、運動会本番で結果を出すことができる。ただ、ここで言う練習は、単に一生懸命であったり練習量の多さだったりするだけではなく、いかに内容の濃い練習をしてきたかということなんだと・・・。

一生懸命練習することも、時間をかけて練習することも大切です。でも、その中で意識的に中身が充実した練習をすること。これが実践できてこそ「練習はうそをつかない」という言葉が生きてくるのではないでしょうか。

この後、舞台は華やかな演技と競走の場へと移っていきました。遡ること2週間前。ここから本格的に運動会練習がスタートしました。運動会練習の大半を費やして取り組むのは、チームワークの結晶と言えるダンス。本年度から低・中・高学年ブロックによるダンスとなり、当日を迎えるまで毎日楽しくもあり厳しくもありの練習メニューが組み込まれ、子ども達は満足のいく演技を追い求め、走り続



1・2年　ズートピアへようこそ！

けてきました。

この間のダンス練習において、なかなか周りの友達との動きが合わなかったり、隊形移動が遅れ次の動きに間に合わなかったり、慣れない動きで筋肉痛になったり・・・。「出口が見えないトンネルに入ってしまった」「高い壁にぶつかってしまった」それに近い経験をした子もきっと多くいたことでしょう。



3・4年　YOU！JOY！友情パレード

本番までわずかな時間となった日。教員の話を真剣な眼差しで聞きとり、身体全体で吸収する子ども達。一心不乱に演技に集中する姿を目の当たりにしました。そんな子ども達に負けるものかと、教員も子ども達の良さを最大限に引き出しながら、魂のこもった指導を継続してきたのです。

しかし・・・当日は無情にも冷たい雨が降り注ぎ、運動会は3種目残して水曜日にリスタート。ここではラストに高学年の見事な演技で締めくくられ、フィナーレを迎えました。

運動会両日において、身体に染みついたパフォーマンスを余すことなく披露してくれた子ども達。完成度の高い演技に胸が熱くなりました。たくましくも自信あふれる姿に変身した大塚台っ子に出会えた瞬間となったのです。



5・6年　大塚台ソーラン 2026

順調にいかないからこそ挑戦する価値がある。思い通りにならないからこそ大切なことを学べる。「充実した練習」と「最後までやり抜く気持ち」が強く残った運動会。運動会までの道程を通して成長してきた 300 名超の子ども達と教職員の熱き挑戦のドラマに大きな拍手を送ります。そして、本年度の運動会スローガン『笑顔と絆の大塚台メモリー』を達成した子ども達の姿が大きく感じられました。



保護者の皆様におかれましては、ご多用のところ本校運動会にお越しいただき、ありがとうございました。また、PTA 役員並びにスマイルサポーターズとして会場整理等のお手伝いをしていただきました方々、ありがとうございました。今後もさまざまな教育活動においてもご支援、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。